

2021年度 道東ブロック審判トレーニングセンター  
レフェリーアカデミー①事業報告

報告者：土田 浩貴（十勝）

- ・日 時 令和3年7月3日（土）9時00分～14時00分
- ・会 場 十勝川河川敷サッカー場Aコート
- ・運 営 土田 浩貴
- ・参加者 坂口 風寧（白樺学園高校2年）  
鈴木 辰汰（北見柏陽高校1年）
- ・研修内容 1. 実技（2種：十勝地区FAU-18前期）



## ・参加者感想

副審をしてみたの感想は、旗を持つ向きだったり、オフサイドを取る前の準備だったり、とても細かい所をもっとこだわっていかないといけないと思いました。主審では、根拠のあるポジション取りが大切だと思いました。なんでその場所に立って何をみているか、次の展開を読んで立ち位置を変えていく必要があるの、サッカーをするプレイヤーよりも拘っていく必要があるのだなと思いました。ポジション取りだけでなく、倒れた選手に声をかけるなど、人としても成長できることを、このレフリーアカデミーで学ぶことができました。

いつもとは違うインストラクターに見てもらいましたが、いつもとはまた違った部分を指摘されてまだまだ突き詰めていかないといけないと思ったとともに、いつもとはまた違った視点の話も聞けて非常に実りのある研修でした。ですが、今回も自分の改善点である争点との距離と、プレーが止まっているときの動きはもう少し意識して改善していかないといけないと思いました。今回の経験を決して無駄にせず自分のものにいち早くできるようにこれからの審判活動を行っていこうと思いました。この度は貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

## ・まとめ

今回初めて他地区（オホーツク地区）のユース審判員の参加があり「交流」という部分でもとても有意義な研修会となりました。それぞれ主審・副審を担当してもらいましたが、2名とも場数を踏んでおり毅然としたレフリングでゲームをコントロールしていました。

振り返りでは、「ポジショニング」、「ファウルの判定」について質問した際に「根拠」を持って説明していたのが印象的でした。修正の部分については自分が納得するまで質問を重ね、次にいかそうという姿勢が強く感じられました。また、振り返りの際に、「プラクティカルトレーニング」を経験したいという要望があったので、次回は実施できるように計画を立てたいと考えています。最後に今回の研修会に協力いただきました帯広南商業高校の皆様ありがとうございました。

レフリーアカデミー道東十勝担当 土田 浩貴